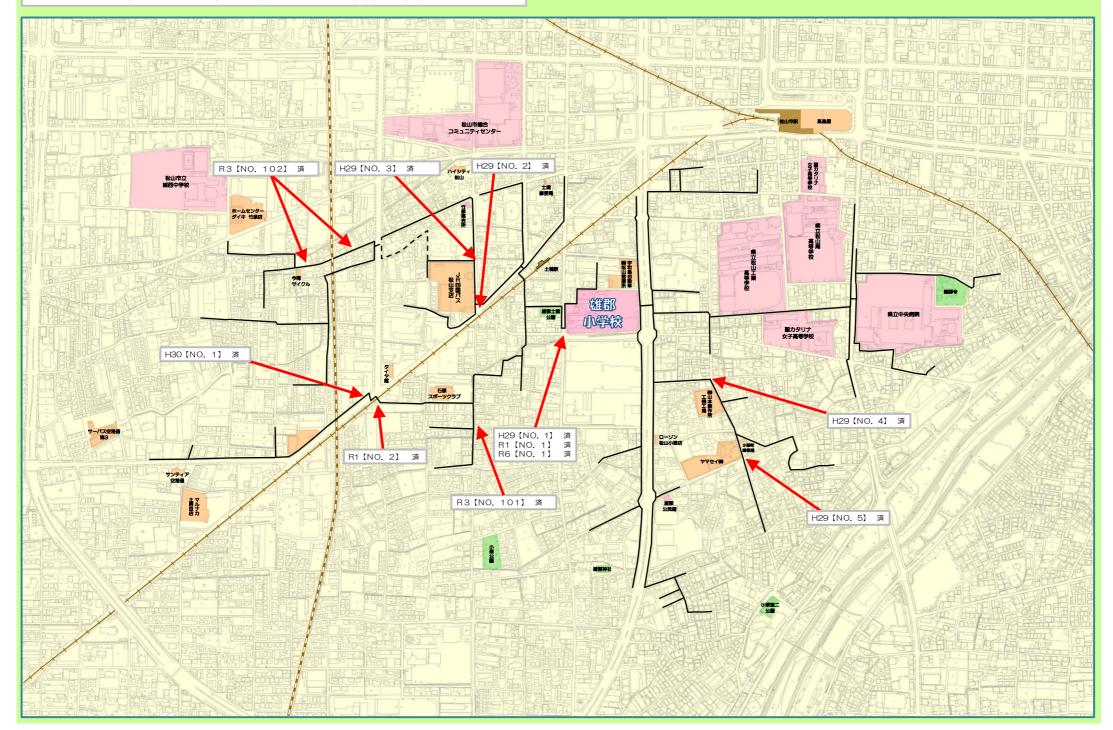
通学路合同点検対策箇所図 (雄郡小学校)



H29年度 H30年度 R1年度





(対策)
右折端に車がショートカットしないよう、ドット線 外輪線を引き直し、交差点内にドット線等を引いて 東の勘線を示しました。 参連も補修しました。 かんで引き重しました。 かんで引き重しました。 かんで引き重しました。



(状況) 交通量が多く変則的な交差点で、束側からの右折率が、北がらの左折率が地道側に進入して適ることが多く、 ショートカットするため、危機です。 また、歩道が一部総役している箇所があります。 い箇所です。





(対策) 外側線・交差点マーク・ドット線を設置しました。 ラパーポールを設置しました。



(状況) 通勤する車で交通量が多く、横断する際に注意が必要 です。 を通るため危険です。



交通量が多く危険です。

(対策) 北側にガードパイプを南側にラパーボールを設置し ました。 機能が発を移設しました。 機能が発を移設しました。

R3年度

R6年度



(状況) 連幅が狭く、交通量が多く、また、交差点での見通し が悪いです。

(対策) 外側線及び交差点マークを設置しました。





横断歩道で信号待ちをする児童の滞留スペースと、店舗へ車両が出入りする箇所が重なります。

(対策) 店舗の出入り口前に子ども進が利用する時間帯だけ 三角コーンとコーンパーを設置させてもらうことと しました。

